



学校だより

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamishirane/>



令和5年6月30日
横浜市立上白根小学校
【7月号】



考える かみしらねっ子

校長 小嶋 一喜

6月の「かみしらねっ子」を紹介します。

2年生が1年生を学校探検に招待することになりました。2年生は事前に取材をして分かりやすく1年生に伝えようと考えていました。校長室担当の3名の子どもたちは、部屋の中にある椅子の多さに気が付き、「どうして、こんなに椅子がたくさんあるの?」と質問をしてきました。また、テレビがあることを見つけた子は、「校長先生、テレビを見られてずるい。」と話してきました。「どうして、椅子が多いと思う?」「どうして校長室にテレビがあると思う?」と問い返すと、少し考えて、「大事なことを話合うからかな。」「地震のときに見るからかな」と答えました。「そうだね。大正解です。」と伝えるとうれしそうに1年生に伝えるためにメモに残していました。当日は、2年生の3名は、自信をもって1年生に伝える姿が見られました。

5年生2名が校長室に来て、「2年生がなかよくしたいと言っています。そこで、一緒に給食を食べながら、おしゃべりをしたいです。」と提案にきました。「下級生の子どもたちの思いを聞いて、行動に移していることがすばらしいね。まず5年生だけでマナーを守って食事をすることができるとかやってみよう。できたら、その先に進もうか。」と返事をしました。数日後、5年生の給食の様子を見に行きました。すると、机を4つまとめてつけるのではなく、真ん中を開けて四葉のクローバーのようにしてつけていました。こうすることによって、隣や前の人との距離を保つことができていました。また、食事を食べ終わる時間が遅くならないように、最初にもぐもぐタイムといって、黙食をする時間をとる工夫もしていました。これから、自分たちが試したことを振り返り、当日2年生と素敵な交流給食ができると信じています。

大人から教えてもらったことではなく、自分で気が付き、考えたから自信をもって伝える姿につながったと考えています。保護者の皆様、地域の皆様、子どもたちからの気付きや質問に、すぐに答えを言うのではなく、問い返して子どもたちに考えを聞いてみてください。子どもたちは考えて、自分なりの答えを出します。そこから自信が生まれていくと考えます。